

元 神 医 第 1207 号
令和元年 11 月 28 日

神奈川県歯科医師会長 殿
神奈川県薬剤師会長 殿
神奈川県看護協会会長 殿
神奈川県訪問看護ステーション協議会長 殿
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会長 殿
神奈川県ホームヘルプ協会本部長 殿
神奈川県介護福祉士会長 殿
神奈川県介護支援専門員協会理事長 殿
神奈川県栄養士会長 殿
神奈川県医療ソーシャルワーカー協会会長 殿
神奈川県歯科衛生士会長 殿

神奈川県医師会
会長 菊岡 正和
(公印省略)

令和元年度第 2 回入退院支援に関する研修会～当事者・家族を理解し、
支援するには～〔在宅医療トレーニングセンター事業〕
の開催について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本会在宅医療トレーニングセンターが実施する標記の研修会につきまして、11 月 30 日の第 1 回研修会についてご周知いただき、関係の皆様より、多数の参加申込みをいただくことができました。皆様のご協力に御礼申し上げます。

さて、標記のとおり、第 2 回入退院支援研修会の開催について、ご案内申し上げます。

今回は、「当事者・家族を理解し、支援するには」をテーマに、地域の関係機関、関係職種の皆様と一緒に検討し、皆様の業務をより円滑にできるための新たなアイデアにつなげていけることを期待したいと考えます。

入退院支援を円滑にするためには、地域の皆様で共有して、一緒に考えていくことが最も重要と考えておりますので、**病院の関係者をはじめ、診療所、訪問看護、介護事業所など関係機関の皆様にご参加いただきたいと考えております。**

※第 3 回〔3 月 7 日（土）、多職種、多機関連携における支援（仮）〕については、開催日が近づきましたら、別途ご案内します。継続してご参加いただければ幸甚です。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員をはじめ、関係機関へご周知をお願い申し上げますとともに、多数のご参加をいただけますよう貴職のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、参加をご希望の方は、別紙の申込用紙に所属機関名・連絡先・氏名・職種を明記の上、神奈川県医師会地域医療企画課（FAX 045-241-1464）へ 12 月 27 日（金）までにお申込いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 研修会名 令和元年度第 2 回入退院支援に関する研修会
～当事者・家族を理解し、支援するには～
- 2 日 時 令和 2 年 1 月 11 日（土） 14：30-17：30
- 3 場 所 関内新井ホール
横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 11 階

お問い合わせ先
地域医療企画課 担当：岩田
横浜市中区富士見町 3-1
TEL 045(241)7000 FAX 045(241)1464
E メール：g-iwata@kanagawa.med.or.jp

関係団体用

FAX 045-241-1464

神奈川県医師会 地域医療企画課 岩田行き

令和元年度第2回入退院支援に関する研修会～当事者・家族を理解し、
支援するには～〔在宅医療トレーニングセンター事業〕

申込用紙

日時 令和2年1月11日（土） 14時30分～17時30分

場所 関内新井ホール

（横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11F）

所属機関名： _____ 所在地： _____ 市

連絡担当者名： _____

電話番号： _____ メールアドレス： _____

※お申込みをいただき、受講可能の場合は特に連絡いたしませんので、当日会場へお越しく下さい。

※グループディスカッションにあたって、なるべく多機関、多職種で構成できるように、申込み受付を調整させていただく場合がございますのでご了承願います。

氏名	役職・担当職務など	職種 (下記○を記載してください)
(ふりがな)		医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・リハビリ職 (PT・OT・ST)・社会福祉士・MSW 主任介護支援専門員・介護支援専門員・ 介護福祉士・訪問介護員・栄養士・ 歯科衛生士・行政事務・その他 ()
(ふりがな)		医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・リハビリ職 (PT・OT・ST)・社会福祉士・MSW 主任介護支援専門員・介護支援専門員・ 介護福祉士・訪問介護員・栄養士・ 歯科衛生士・行政事務・その他 ()
(ふりがな)		医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・リハビリ職 (PT・OT・ST)・社会福祉士・MSW 主任介護支援専門員・介護支援専門員・ 介護福祉士・訪問介護員・栄養士・ 歯科衛生士・行政事務・その他 ()
(ふりがな)		医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・リハビリ職 (PT・OT・ST)・社会福祉士・MSW 主任介護支援専門員・介護支援専門員・ 介護福祉士・訪問介護員・栄養士・ 歯科衛生士・行政事務・その他 ()

関内新井ホール案内図

会 場: 関内新井ホール

横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11階

関内新井ホールへのアクセス

住 所: 横浜市中区尾上町1-8

関内新井ビル11F

電 話: 045-681-6763

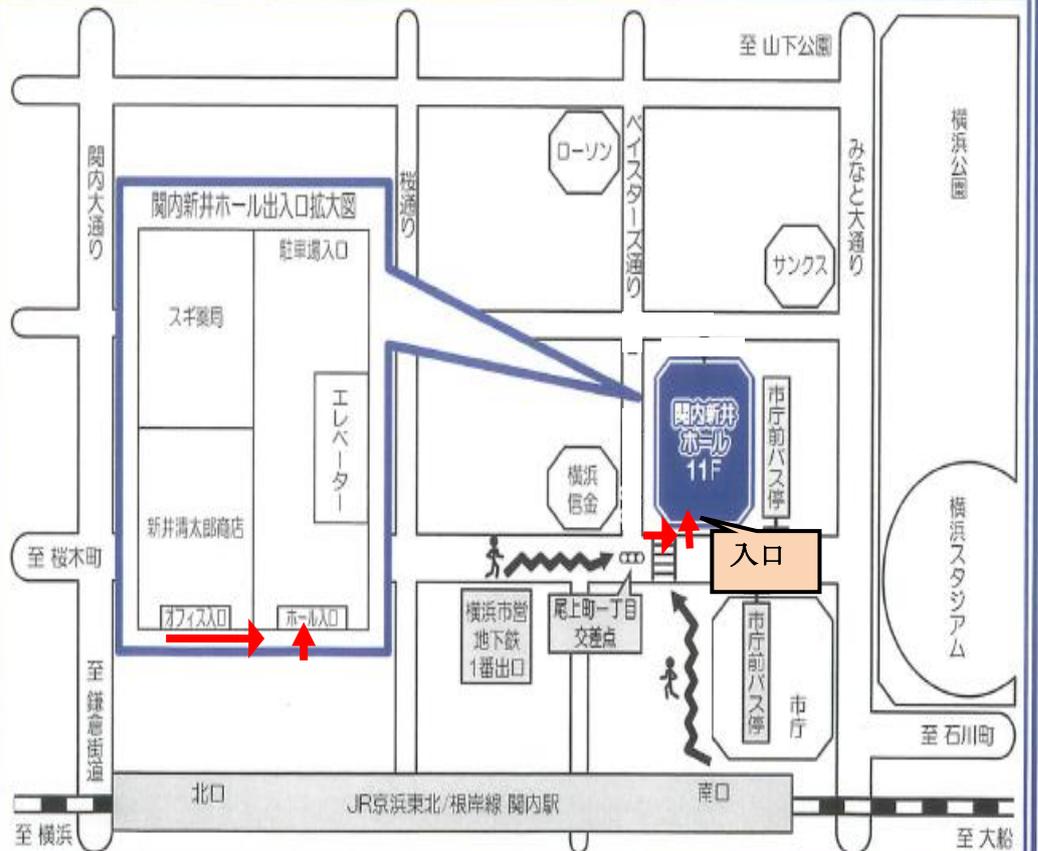
F A X: 045-681-4859

電 車:

JR京浜東北/根岸線「関内駅」
南口より 徒歩2分
横浜市営地下鉄「関内駅」
1番出口より 徒歩1分

バ ス:

横浜市営バス
32系統、79系統、99系統、
101系統、105系統、106系統
「市行前」バス停より徒歩1分



令和元年度入退院支援に関する研修会〔在宅医療トレーニングセンター事業〕
開催要領

1 趣 旨

効率の良い病床稼働や、患者・家族が望む療養生活の実現においては、入退院支援は必須の取組み事項であり、各地域で、地域の実情にあわせた調整ルールや進め方など、病院、在宅関係者の取組みが進められてきております。本研修会は、より円滑な入退院支援に向けて、地域の関係機関、関係職種の皆様と一緒に検討していく流れで進めます。支援を行う上で難しいと感じる点や課題の解決に向けて、皆様にディスカッションをする中で、各機関の有効な活用方法の共有や、より円滑な連携等の新たなアイデアを見出せるものと考えております。

今期は、下記のとおり全3回の開催を予定しております。いずれも大切なテーマですので、是非とも3回通してご出席をいただければ有り難く、皆様の多くのご参加をお願い申し上げます。（※第2回目以降の開催通知は、時期が近づきましたら改めてご案内いたします。）

2 開催日時・場所

〔第1回〕日 時：令和元年11月30日（土） 14：30-17：30程度

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM みなとみらい5階ホールB
（横浜市西区みなとみらい3-6-3 MM パークビル5F）

テーマ：地域包括ケア病床における入退院支援の役割と現状・課題

〔第2回〕日 時：令和2年1月11日（土） 14：30-17：30程度

場 所：関内新井ホール（横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11階）

テーマ：当事者・家族を理解し、支援するには

〔第3回〕日 時：令和2年3月7日（土） 14：30-17：30程度

場 所：調整中

テーマ：多職種、多機関連携における支援（仮）

3 参加者

医療職（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリテーション専門職等）、介護職・福祉職（介護支援専門員、介護福祉士、訪問介護員、栄養士、MSW等）、行政職等

※地域の皆様に共有して、一緒に考えていくことが最も重要と考えておりますので、病院の関係者をはじめ、診療所、訪問看護、介護事業所など関係機関の皆様へ、ご参加いただきたいと考えております。そして、是非とも第2回、第3回にも継続してご参加いただければ幸いです。

※様々な立場の方にご参加いただけるよう、下記の関係団体へ周知協力依頼をいたします。

郡市医師会、神奈川県病院協会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会、神奈川県看護協会、神奈川県訪問看護ステーション協議会、神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会、神奈川県ホームヘルプ協会本部、神奈川県介護福祉士会、神奈川県介護支援専門員協会、神奈川県栄養士会、神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、神奈川県歯科衛生士会、神奈川県行政、市町村行政

4 参加定員

160名（8名卓×20グループを想定）

5 第2回研修会（1/11）の内容と進行

入退院を支援するうえで、当事者・家族を理解して、いかにして必要な支援につないでいくか、またそこでの課題は何か、事例説明とともに、グループディスカッションで検討し、課題に対してできることなどを考えていきます。グループ構成は、関係するさまざまな機関、職種の皆様に構成して、いろいろな視点から意見を交換できるようにします。

詳細は別添のプログラムをご参照ください。

令和元年度第2回入退院支援に関する研修会
テーマ：当事者・家族を理解し、支援するには

日時 令和2年1月11日（土）午後2時30分～5時30分
場所 関内新井ホール
主催 神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター

司 会 神奈川県医師会理事 篠原裕希

1 開 会

2 挨拶 神奈川県医師会副会長 宮川政昭

3 講 演

(1) 『「家に帰りたい」その気持ちに答えるための備え』
ありがとうみんなファミリークリニック院長 小宮山 学

4 検 討（テーマ：当事者・家族を理解し、支援するには）

(全 体) 進行説明

入退院を支援するうえで、当事者・家族を理解して、いかにして必要な支援につないでいくか、またそこでの課題は何か、事例説明とともに、グループディスカッションで検討し、課題に対してできることなどを考えていきます。グループ構成は、関係するさまざまな機関、職種の皆様で構成して、いろいろな視点から意見を交換できるようにします。

(全 体) ・事例報告（調整中）

(グループ) ° グループディスカッション
・事例をもとに、課題と対策の検討

(全 体) ディスカッション報告

(全 体) 事例振り返りと質疑応答

(グループ) グループ内で振り返り

(全 体) 総 括

5 閉 会